

令和6年度（2024年度）第1回東海市まちづくり評価委員会
次 第

日 時：令和6年（2024年）7月2日（火）

午前9時30分から

場 所：201会議室（2階）

1 開 会

2 企画部長あいさつ

3 総合計画に基づくまちづくりに関する評価についての諮問

4 議 題

令和5年度（2023年度）のまちづくりに関する評価（施策評価）について

(1) 人づくり・心そだて（8施策）

5 今後の予定

令和6年度 東海市まちづくり評価委員会
日時及び内容等一覧

回数	日 時	場 所	主な内容（予定）
第1回	7月2日（火） 午前9時30分から	市役所201会議室 （2階）	・総合計画に基づくまちづくりに関する評価についての諮問 ・令和5年度（2023年度）のまちづくりに関する評価（施策評価）について 人づくり・心そだて（8施策）
第2回	7月4日（木） 午後2時から	市役所201会議室 （2階）	・令和5年度（2023年度）のまちづくりに関する評価（施策評価）について 産業・勤労（4施策） 都市基盤（6施策）
第3回	7月19日（金） 午後2時から	市役所201会議室 （2階）	・令和5年度（2023年度）のまちづくりに関する評価（施策評価）について 健康・福祉・子育て（9施策）
第4回	7月31日（水） 午後2時から	市役所302会議室 （3階）	・令和5年度（2023年度）のまちづくりに関する評価（施策評価）について 環境・市民生活（7施策） 地域づくり・行政経営（4施策）

東海市まちづくり評価委員会 評価の進め方

I 第6次総合計画の概要

II 第6次総合計画の主な特徴

III 行政マネジメントサイクルの概要

IV 第6次総合計画 最終評価の考え方

V 東海市まちづくり評価委員会

I 第6次総合計画の概要

1 総合計画の位置づけ

まちの将来像を見据え、まちづくりの方向性やあり方を示す指針であり、まちづくりを総合的かつ計画的に進めることを目的とした、本市のまちづくりを進める上での最上位計画です。

2 計画の期間

平成26年度(2014年度)～令和5年度(2023年度) <10年間>

※平成30年度末に後期計画(後期5年間)を策定



3 東海市の将来都市像

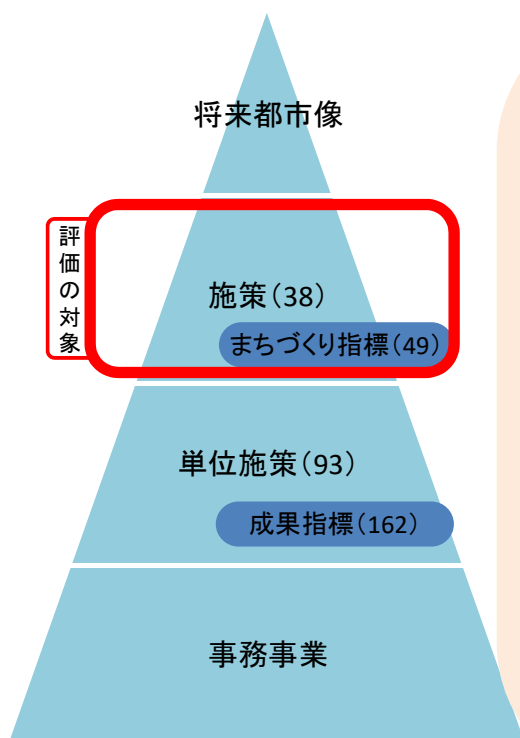
ひと 夢 つなぐ 安心未来都市

4 総合計画の体系

将来都市像の実現に向けて、「めざすまちの姿」と、それを実現するための施策、単位施策等を階層的・体系的に整理し、それぞれの成果・達成状況等を把握するための「指標」を設定しています。

I 第6次総合計画の概要

第6次総合計画の体系（イメージ）



【めざすまちの姿】

市民が重要と考え、10年後に実現したいと願う、あるべきまちの姿を具体的に示したもの

【まちづくり指標】

「めざすまちの姿」の実現に向けた、まちづくりの達成状況を測るために設定した「ものさし」

※5年後、10年後の達成状況等を把握するための目安の数値

【施策】

めざすまちの姿の実現に向けて、主として市が取り組む方向性・考え方を整理したもの

【単位施策】

施策実現のための具体的な項目で、その進め方の方向性を示したもの

【成果指標】

単位施策の進み具合や成果の分析等を行うための「ものさし」

Ⅱ 第6次総合計画の主な特徴

1 分野(章)ごとに「めざすまちの姿」を示した計画

- ① 市民が感じる重要度等をもとに、10年後に実現したい「まちの姿(まちづくりの目標)」を分野ごとに整理(総合計画書20・21ページ参照)
- ② まちづくりの目標(めざすまちの姿)と手段(施策)の位置づけを明確化(総合計画書30・31ページ参照)

2 市民満足度やまちづくりの進み具合を多角的に検証

「めざすまちの姿」に「まちづくり指標」、まちづくりの手段である「単位施策」に「成果指標」を設定し、市民満足度の変化やまちづくりの進み具合をさまざまな視点から確認及び検証できる計画
(総合計画書30・31ページ参照)

3 活動主体に期待される役割を明確に示した計画

「めざすまちの姿」の実現に向けて、「市民」、「地域・団体」、「行政」に期待される役割を「自助・共助・公助」の考え方から具体的に記載
(総合計画書30・31ページ参照)

Ⅲ 行政マネジメントサイクルの概要

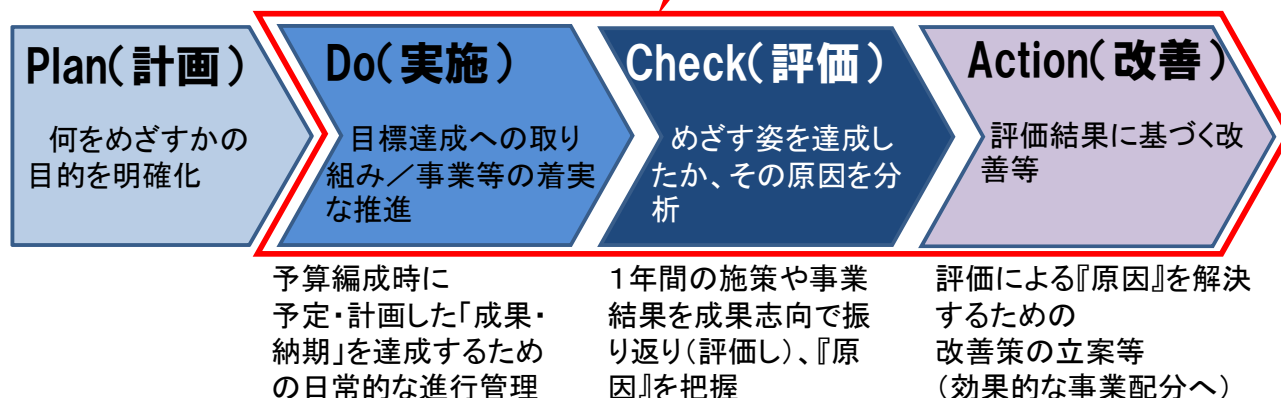
1 PDCAサイクルに基づいた総合計画の進行管理

Plan-Do-Check-Actionのマネジメントサイクルに基づく
施策等の推進



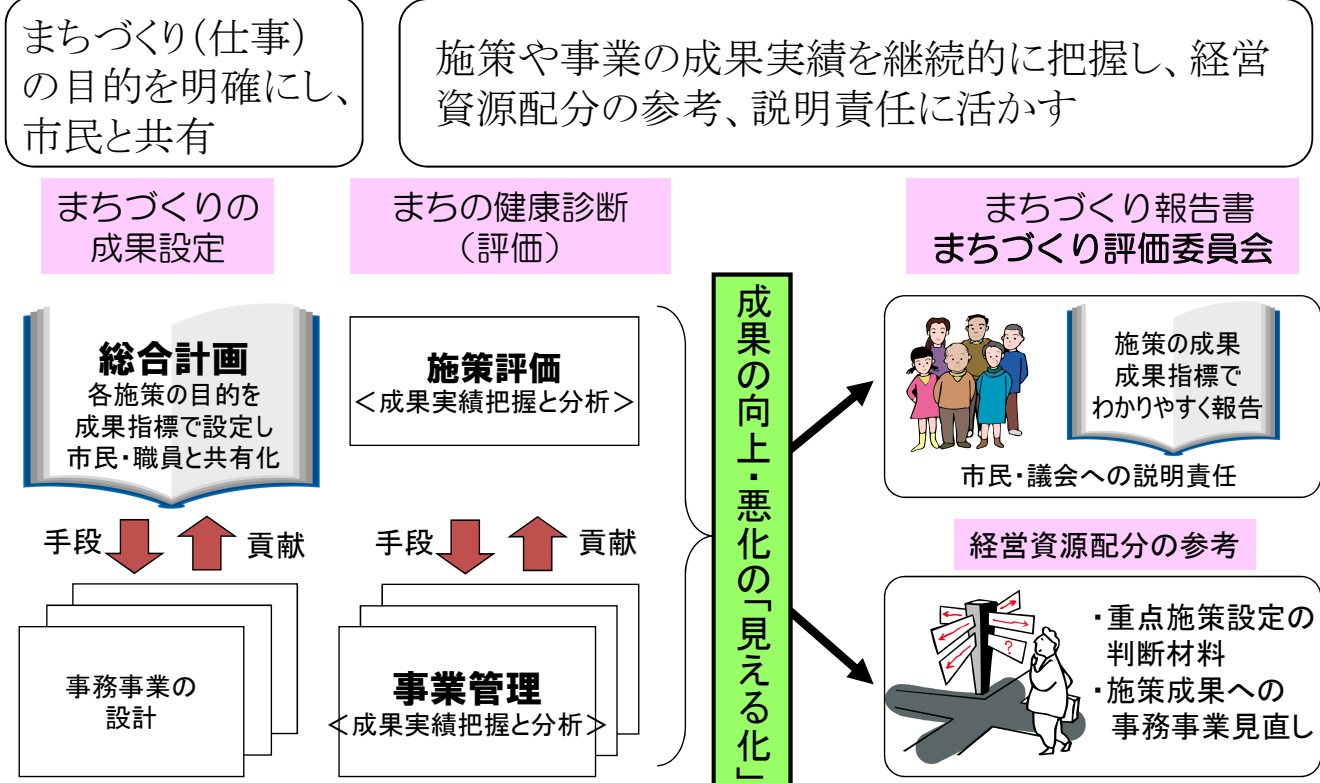
費用対効果の高い事業への資源配分、住民への説明責任を果たす

総合計画で掲げる「38のめざすまちの姿」を実現するためには、「Do(実施)-Check(評価)-Action(改善)」の水準向上が必要



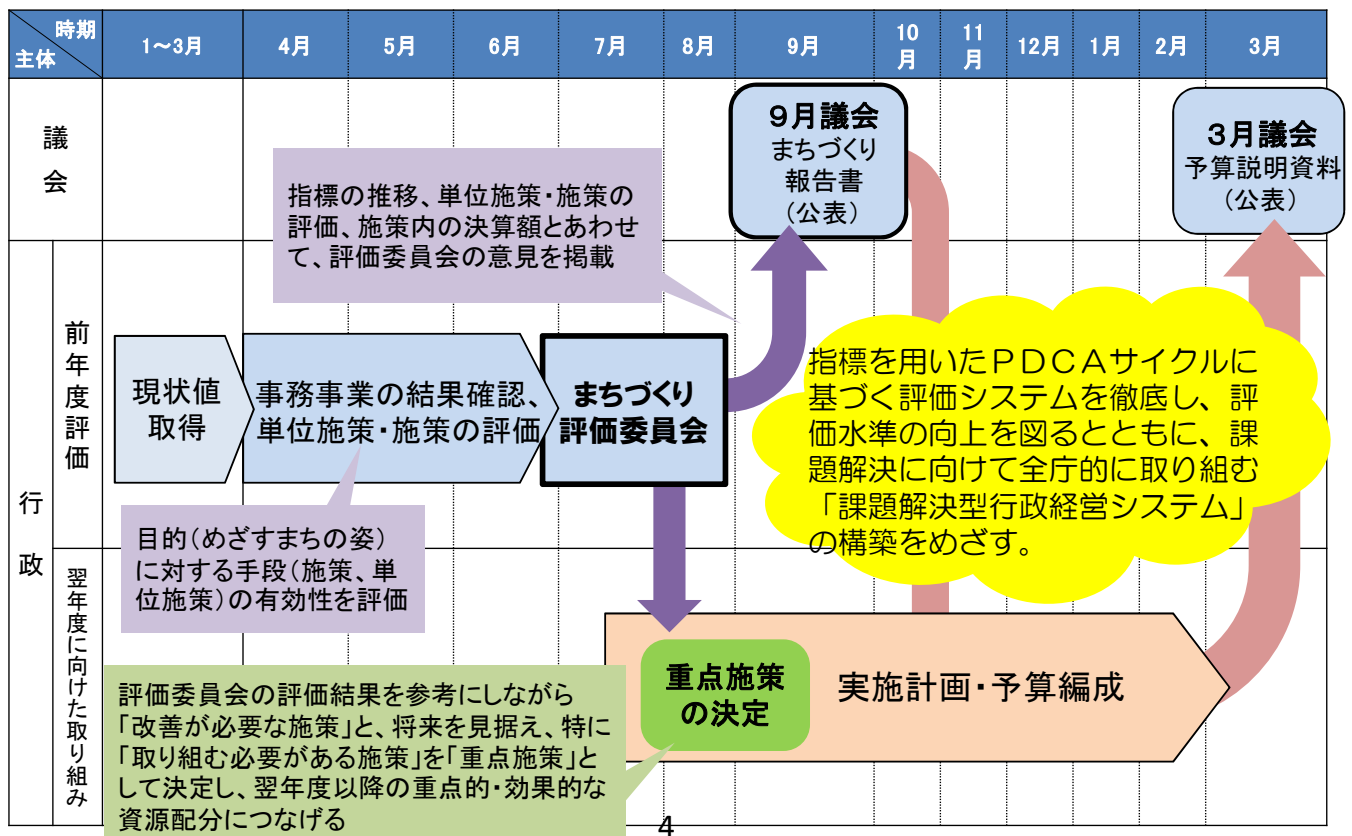
Ⅲ 行政マネジメントサイクルの概要

PDCAサイクルを回すツールとして、行政評価システムを活用



Ⅲ 行政マネジメントサイクルの概要

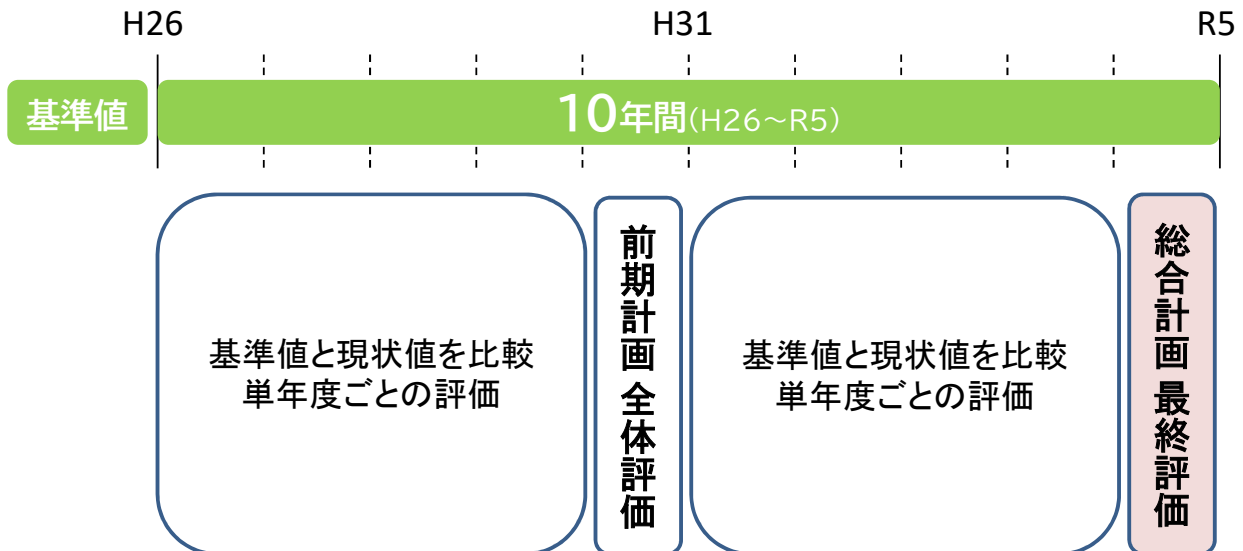
第6次総合計画における行政評価のサイクル等（概要）



Ⅳ 第6次総合計画 最終評価の考え方

1 令和6年度は「第6次総合計画 最終評価」を実施

- ① 施策…10年後めざそう値の達成率・単位施策の成果動向で評価
- ② 単位施策…基準値と比較した成果指標の動向



Ⅳ 第6次総合計画 最終評価の考え方

① 10年後めざそう値達成率による整理

■めざそう値達成率計算式

$(R5\text{現状値} - \text{基準値}) \div$
 $(10\text{年後めざそう値} - \text{基準値})$
 =めざそう値達成率

■めざそう値達成率による分類

100%～ ◎
 80～99% ○
 50～79% □
 0～49% △
 0%未満(マイナス) ×

■まちづくり指標が1つの場合

◎ 順調
 ○ 概ね順調
 □ 概ね順調/横ばい
 △ 横ばい
 × 順調でない

■まちづくり指標が2つ以上の場合 別表(次ページ)参照

施策の評価

順調
 概ね順調
 横ばい
 順調でない

② 単位施策の進捗、事業貢献、環境変化、経済動向等

まちづくり指標の動向に施策全体の取組の成果が表れている場合は、指標の動向を主軸とし、表れていない場合は、指標の動向だけによらず、単位施策の進捗や実施してきた事業の貢献度、環境変化や経済動向等その他要因も含めて評価する。

Ⅳ 第6次総合計画 最終評価の考え方

別表

		まちづくり指標1				
		◎	○	□	△	×
まちづくり指標2	◎	順調	順調	順調	概ね順調	概ね順調 or 横ばい
	○	順調	順調	概ね順調	概ね順調 or 横ばい	横ばい
	□	順調	概ね順調	概ね順調 or 横ばい	横ばい	横ばい or 順調でない
	△	概ね順調	概ね順調 or 横ばい	横ばい	横ばい	順調でない
	×	概ね順調 or 横ばい	横ばい	横ばい or 順調でない	順調でない	順調でない

※重要指標がある場合はその動向を優先

V 東海市まちづくり評価委員会

1 評価委員会の役割と評価の対象

- ① 総合計画に基づくまちづくりについて、担当部課等の取り組みの状況や自己評価(施策評価)の内容が、まちづくりの目的に合致した結果が得られているか、一貫性が図られているかを市民の視点から客観的に評価する。
(地方自治法に基づく審議会として、諮問・答申を行う)
- ② 評価の対象は「**38項目の施策**」とする。※「グラフ」がある資料
(単位施策評価表は、参考資料として添付)

2 評価委員会の評価の視点

- ① 行政が行った評価に関する表現の妥当性・客観性(表現力)
- ② 指標の推移等への原因分析の妥当性(分析力)
- ③ 施策・単位施策の評価における整合性(論理性)

⇒以上の視点から「評価委員会の評価」をまとめる
※施策評価表の見方と評価の視点(別紙)を参照

V 東海市まちづくり評価委員会

3 評価委員会の審議の進め方

- ① 分野(章)単位で審議します。
- ② 分野ごとの成果動向や指標の状況を説明した後、施策の評価内容に関して一括で説明を行います。(施策数が多い分野は半分に分けて説明)
- ③ 評価内容に関する質疑等を行います。(質疑は担当部次長が対応)

【評価の基本的な考え方】

評価委員会では、施策におけるまちづくり指標の動向、単位施策の成果動向などに基づき、施策単位で評価を行います。
個別事業の実施内容については、審議の対象としておりません。

4 評価委員会の評価結果

9月議会に提出する「まちづくり報告書(主要施策報告書)」で、分野別成果動向の一覧とあわせて、評価委員会での評価結果を記載します。(記載する内容は会議録等とともに確認・報告をさせていただきます。)

施策評価表の見方と評価の視点

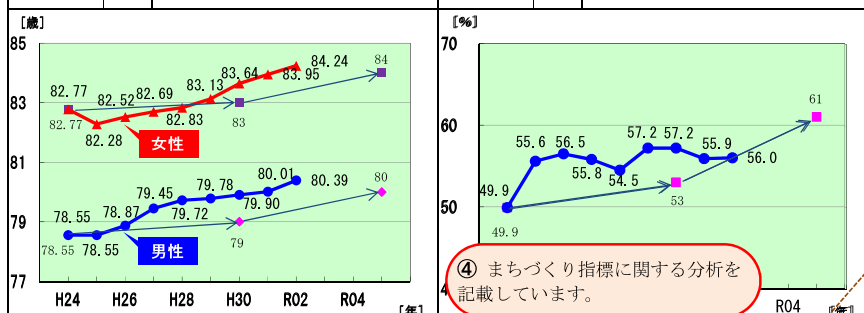
東海市施策評価システム 施策評価表

施策	01	個人の自主的な健康づくりを支援する
----	----	-------------------

体系			
分野	健康・福祉・子育て	理念	いきいき
めざすまちの姿	だれもが自ら健康的な生活を心がけている	③ まちづくり指標の名称、方向	
施策主管課	健康推進課		

まちづくり指標

指標	—	0001	② 総合計画の体系や主管課等の基本情報を記載しています。	0003	健康づくりの取り組みをしている人の割合
方向性	➡	0002	健康づくりの推進	方向性	➡



対基準値：男性1.84歳増、女性1.47歳増 基準値からの推移：男性○、女性○ 10年後めざそう値達成率：55.0%	対基準値：6.1ポイント増／基準値からの推移：△ 10年後めざそう値達成率：55.0%
⑤ まちづくり指標の現状値を、 要因：健康づくりに関する取り組みを支援する環境に改善していると考えられる。	者、職業別：差異有、地区別：差異有 者を除く市民の健康意識の向上と考え には時間的に余裕ができることから年齢 が高くなるにつれて高くなっている。

指標の推移	0001	対基準値→改善	対前年度→改善	指標の推移	対基準値→改善	対前年度→改善
	0002	対基準値→改善	対前年度→改善		対基準値→改善	対前年度→改善

めざすまちの姿の実現に向けた達成度及び施策の評価(主要施策報告書記載用)

施策の成果動向は、順調に評価する。

⑥ まちづくり指標の動向や単位施策の成果動向を踏まえ、めざすまちの姿の実現に向けた達成度や施策の評価を記載しています。

組みのさらなる向上が求められる。

今後は、若い世代に対して事業所と連携した健康づくりの取り組みを推進するとともに、高齢者に対して新型コロナウイルス感染症対策を考慮した事業を推進することで、さらなる健康意識の向上を図っていく。

成果動向	●順調	○横ばい	○順調でない
------	-----	------	--------

⑦ まちづくり指標の動向などから施策の成果動向を「順調」「横ばい」「順調でない」の3段階で評価しています。
(単位施策の成果動向も参考にしています。)

また、指標は基準値との比較を基本とし、前年度との比較は指標の傾向を見るうえでの補足的な要素として扱っています。

単位施策及び成果指標の動向等

単位施策の名称		成果動向	成果指標の名称		対基準値	対前年
01	健康への意識づけと取り組みを支援する	順調	0111	健康づくりでウォーキングなどの運動に取り組んでいる人の割合	改善	悪化
			0112	健康づくりで食事の量やバランスなど食生活の改善に取り組んでいる人の割合	改善	改善
	事務事業の成果状況	向上 (1) 維持・横ばい (9) 低下 (1)				
02	疾病の早期発見に努め重症化を予防する	順調	0121	年に1回は健康診断を受けている人の割合	改善	改善
	事務事業の成果状況	向上 (1) 維持・横ばい (26) 低下 (0)	⑪ 単位施策を進めるための事務事業の成果状況を、成果別に事業数を記載しています。			

～評価の視点～

1 行政が行った評価に関する表現の妥当性・客観性（表現力）

「まちづくり指標の分析(④)」や「施策の評価(⑥)」の内容は、市民に分かりやすい、伝わる表現となっているか。

2 指標の推移等に関する原因分析の妥当性（分析力）

「まちづくり指標の分析(④)」や「施策の評価(⑥)」の原因分析は、市民の視点から見ても妥当な内容となっているか、成果向上につながる原因分析がされているか。

3 施策・単位施策の評価における整合性（論理性）

矛盾や整合性を欠いた評価はないか。

(例えば)

◇「まちづくり指標(④)」は「悪化」しているのに、「成果動向(⑦)」は「順調」と判断している。

◇「まちづくり指標の分析(④)」と「評価(⑥)」の内容に矛盾がある。

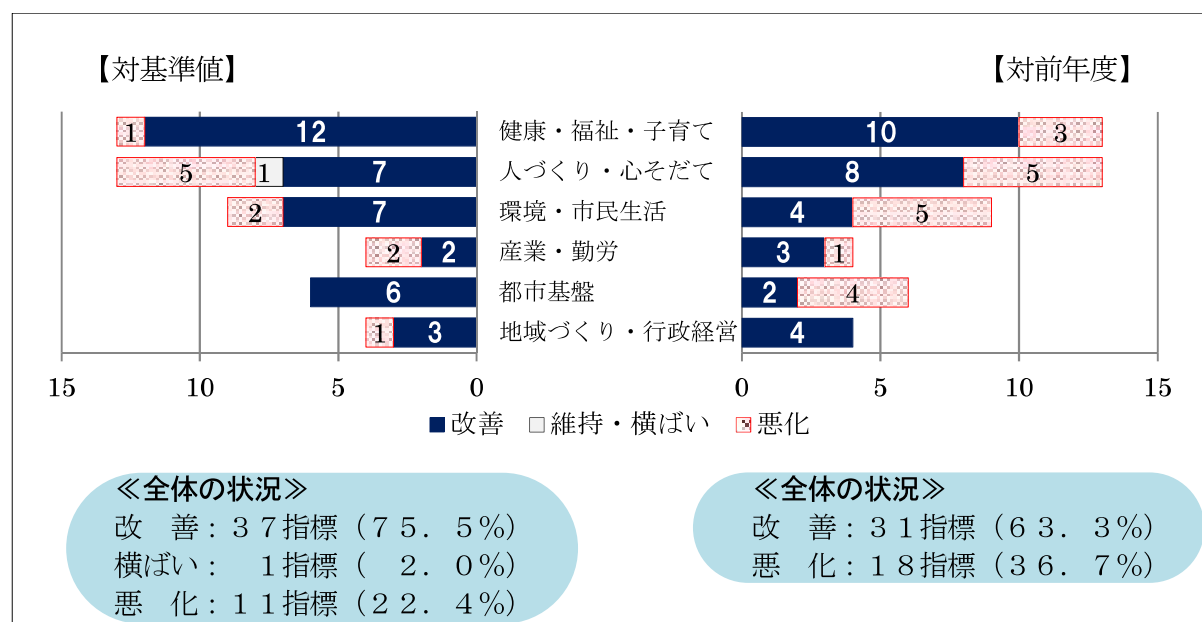
以上の視点から「評価委員会の評価」をまとめる

第6次総合計画における指標（令和5年度分）について

1 まちづくり指標の状況（全49指標）

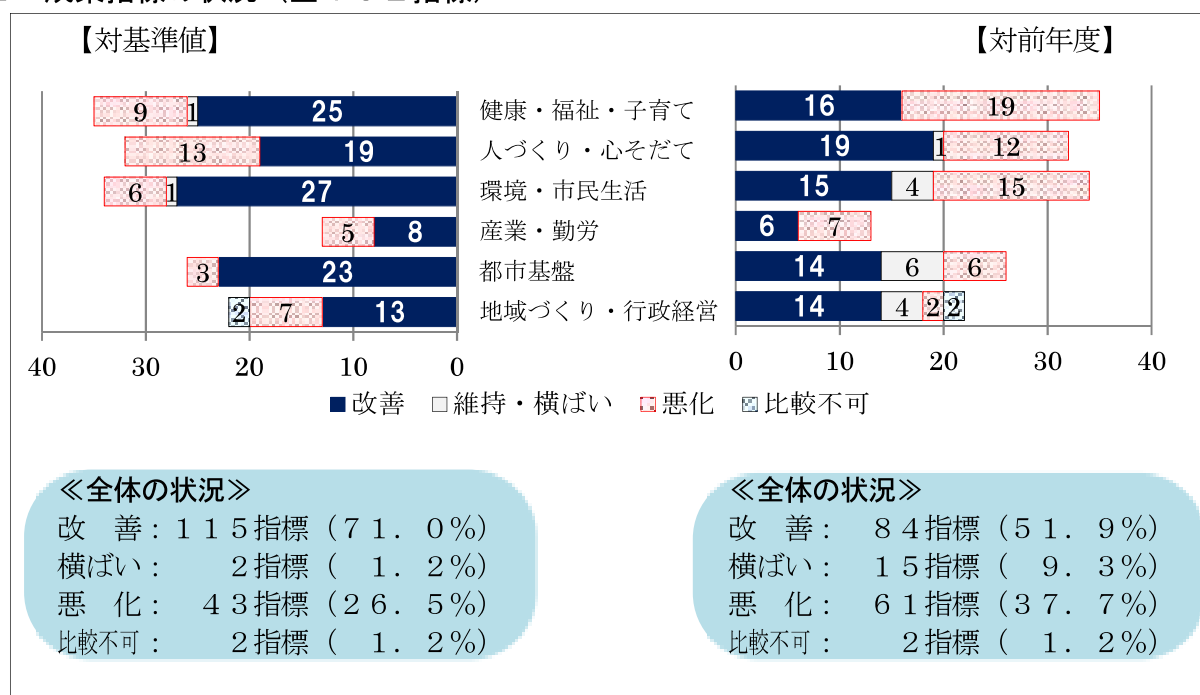
10年後めざそう値（令和5年度・2023年度）を達成した指標（合計11指標）

番号	指 標 名
1	健康寿命（男性）
2	健康寿命（女性）
5	安心して医療を受けられる環境が整っていると感じている人の割合
18	家庭で安らいでいると感じている青少年の割合
30	地域内にごみのポイ捨てが目立つと感じている人の割合
32	市民一人当たりのごみの総量
34	交通事故や犯罪の不安がなく、安全に安心して生活できていると思う人の割合
37	魅力ある商店や企業が多いと感じている人の割合
38	さまざまな立場の人が働きやすい環境が確保されていると思う人の割合
40	自宅周辺が住みやすい場所（所）だと思う人の割合
45	良好な景観が保全され、快適な住環境が整っていると思う人の割合



※ 表中の割合は全て百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100.0%にならないことがあります

2 成果指標の状況（全 162 指標）



※ 表中の割合は全て百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100.0%にならないことがあります

※ 比較不可：現時点で数値が未確定の指標

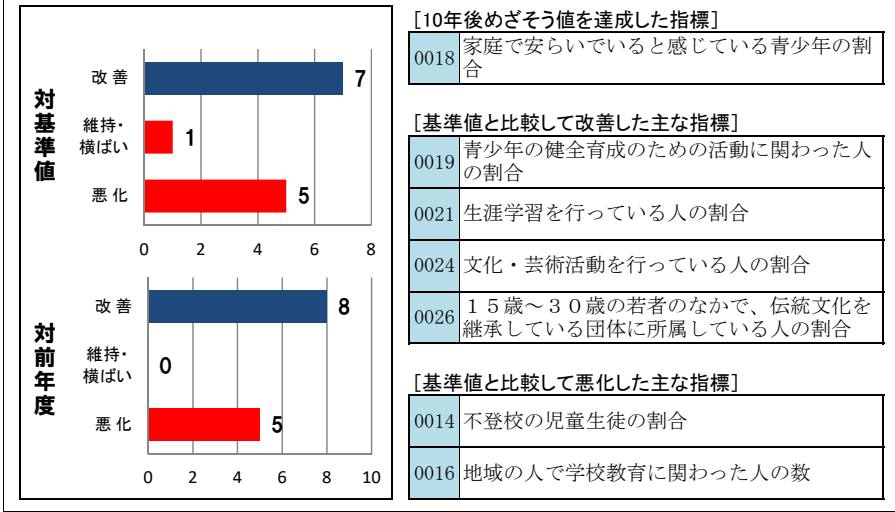
分野別成果動向一覧 第2章「人づくり・心そだて」

＜施策別成果動向一覧＞

節	番号	施策名	成果 動向	まちづくり指標の推移						成果指標の推移							
				対基準値			対前年度			対基準値				対前年度			
				改善	横ばい・ 維持・ 悪化	悪化	改善	横ばい・ 維持・ 悪化	悪化	改善	横ばい・ 維持・ 悪化	悪化	比較不可	改善	横ばい・ 維持・ 悪化	悪化	比較不可
学校教育	10	子どもたちにとって楽しい学校をつくる	順調でない	1	0	1	1	0	1	4	0	5	0	4	0	5	0
	11	学校、家庭、地域が連携して子どもの健全な成長を支える	横ばい	0	1	1	1	0	1	4	0	0	0	3	0	1	0
社会教育	12	青少年が健全で心豊かに成長できる環境をつくる	順調	2	0	0	2	0	0	4	0	0	0	4	0	0	0
	13	マナーが守られ思いやりにあふれる地域をつくる	順調でない	0	0	1	1	0	0	0	0	3	0	1	1	1	0
	14	楽しみや生きがいを感じるまちをつくる	横ばい	1	0	0	1	0	0	1	0	3	0	2	0	2	0
スポーツ	15	だれもが気軽にスポーツを楽しむ元気なまちをつくる	横ばい	1	0	1	1	0	1	3	0	0	0	2	0	1	0
文化	16	文化に親しみ心豊かなまちをつくる	順調	1	0	0	1	0	0	2	0	1	0	2	0	1	0
文化財	17	郷土の歴史や文化を大切に継承する	順調でない	1	0	1	0	0	2	1	0	1	0	1	0	1	0

＜まちづくり評価委員会の評価＞

＜まちづくり指標の状況＞



対基準値

改善 7
維持・横ばい 1
悪化 5

対前年度

改善 8
維持・横ばい 0
悪化 5

対基準値

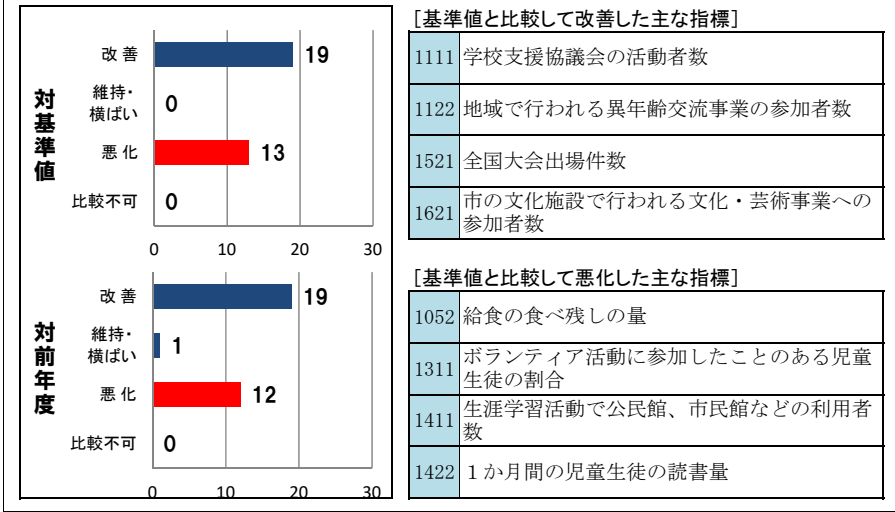
改善 19
維持・横ばい 0
悪化 13
比較不可 0

対前年度

改善 19
維持・横ばい 1
悪化 12
比較不可 0

[10年後めざそう値を達成した指標]	
0018	家庭で安らいでいると感じている青少年の割合
[基準値と比較して改善した主な指標]	
0019	青少年の健全育成のための活動に関わった人の割合
0021	生涯学習を行っている人の割合
0024	文化・芸術活動を行っている人の割合
0026	15歳～30歳の若者のなかで、伝統文化を継承している団体に所属している人の割合
[基準値と比較して悪化した主な指標]	
0014	不登校の児童生徒の割合
0016	地域の人で学校教育に関わった人の数

＜成果指標の状況＞



対基準値

改善 19
維持・横ばい 1
悪化 12
比較不可 0

対前年度

改善 19
維持・横ばい 1
悪化 12
比較不可 0

対基準値

改善 19
維持・横ばい 1
悪化 12
比較不可 0

対前年度

改善 19
維持・横ばい 1
悪化 12
比較不可 0

[基準値と比較して改善した主な指標]	
1111	学校支援協議会の活動者数
1122	地域で行われる異年齢交流事業の参加者数
1521	全国大会出場件数
1621	市の文化施設で行われる文化・芸術事業への参加者数
[基準値と比較して悪化した主な指標]	
1052	給食の食べ残しの量
1311	ボランティア活動に参加したことのある児童生徒の割合
1411	生涯学習活動で公民館、市民館などの利用者数
1422	1か月間の児童生徒の読書量

＜第2章「人づくり・心そだて」指標の状況＞

【まちづくり指標】「家庭で安らいでいると感じている青少年の割合」が10年後めざそう値（R5(2023)）を達成したほか、「青少年の健全育成のための活動に関わった人の割合」など、基準値と比較して7指標、分野全体で53.8%が改善した。

一方、基準値以下となった指標は「不登校の児童生徒の割合」はじめ5指標（38.5%）となった。

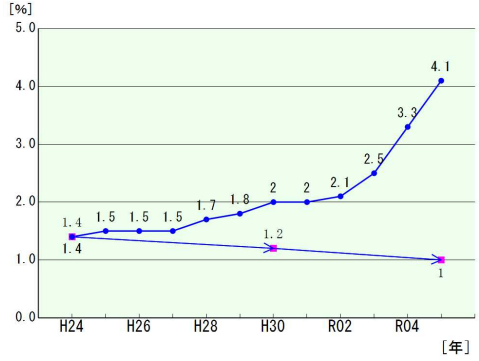
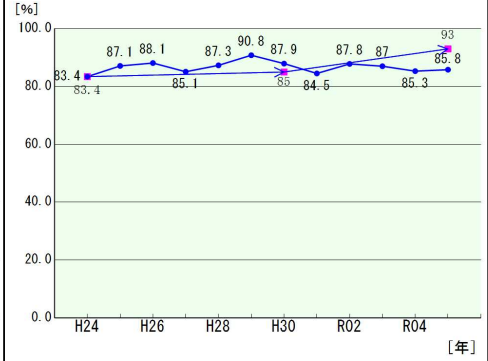
【成果指標】「学校支援協議会の活動者数」はじめ19指標、分野全体で59.4%が基準値より改善した。また、基準値以下となった指標は「給食の食べ残しの量」はじめ13指標（40.6%）となった。

東海市施策評価システム 施策評価表

出力日: 2024年6月4日

施策	10	子どもたちにとって楽しい学校をつくる
----	----	--------------------

体系			
章	人づくり・心そだて		理念 いきいき
めざすまちの姿	子どもたちにとって学校が楽しく、不登校児童生徒が少ない		
施策主管課	学校教育課		

まちづくり指標			
指標	0014	指標	0015
方向性 ➡		方向性 ➡	
不登校の児童生徒の割合		学校が楽しいと感じている児童生徒の割合	
			
対基準値: 2.7ポイント増 / 基準値からの推移: × 10年後めざそう値達成率: -675.0% 小中学別: 差異有 要因: 長期に渡るコロナ禍での生活習慣の乱れの影響や中1ギャップの増加等によるものと考える。		対基準値: 2.4ポイント増 / 基準値からの推移: × 10年後めざそう値達成率: 25.0% 小中学別: 差異無、学校別: 差異無 要因: 授業内容に教職員向け研修の成果が表れている一方で、支援が必要な子どもが増加傾向にある。	
指標の推移	対基準値 → 悪化 対前年度 → 悪化	指標の推移	対基準値 → 改善 対前年度 → 改善

めざすまちの姿の実現に向けた達成度及び施策の評価(主要施策報告書記載用)			
「不登校の児童生徒の割合」は基準値から低下しており、「学校が楽しいと感じている児童生徒の割合」はめざそう値達成率が25.0%であることから、施策は順調に進展しなかった。課題のある児童生徒の増加や、コロナ禍での生活習慣の乱れ、中1ギャップが大きかったこと、また、教職員向けの研修の成果として子どもたちが分かりやすいと実感する授業が行われた一方で、コロナ禍により学校行事等の活動を縮小・自粛したことで挑戦する意欲や能力を開発する機会が減少し、夢や目標を持って取り組むことが困難になったことが要因と考える。7次計画では、引き続き関係機関等と連携し効果的な不登校対策の検討を進めるとともに、子どもたちが夢や目標を持ち「生きる力」を育む体験事業の実施に取り組んでいく。			
成果動向	○ 順調	○ 横ばい	● 順調でない

単位施策及び成果指標の動向等					
単位施策の名称		成果動向	成果指標の名称		対基準値 対前年度
01	個性と能力が伸びる授業をつくる	横ばい	1011	好きな授業がある児童生徒の割合	悪化 悪化
			1012	学校の授業がわかりやすいと答えた児童生徒の割合	改善 悪化
	事務事業の成果状況	向上	(0)		
		維持・横ばい	(9)		
		低下	(0)		
02	いじめ・不登校対策を充実させる	横ばい	1021	困った時に悩みを相談できる人が身近にいる児童生徒の割合	改善 改善
	事務事業の成果状況	向上	(0)		
		維持・横ばい	(4)		
		低下	(0)		
03	快適で安全な学校生活を充実させる	横ばい	1031	学校でだけがをした児童生徒数	改善 悪化
			1032	学校は、安心して学習できる環境が整っていると思う保護者の割合	悪化 悪化
	事務事業の成果状況	向上	(3)		
		維持・横ばい	(33)		
		低下	(0)		
04	出会いと体験の場を提供する	順調でない	1041	夢や目標を持っている児童生徒の割合	悪化 改善
			1042	外国の生活や文化に興味がある児童生徒の割合	悪化 改善
	事務事業の成果状況	向上	(0)		
		維持・横ばい	(5)		
		低下	(0)		
05	食の大切さと楽しさを理解させる	順調でない	1051	給食が楽しみな児童生徒の割合	改善 改善
			1052	給食の食べ残しの量	悪化 悪化
	事務事業の成果状況	向上	(0)		
		維持・横ばい	(2)		
		低下	(0)		

単位施策	01	個性と能力が伸びる授業をつくる
------	----	-----------------

成果指標											
指標番号	1011	好きな授業がある児童生徒の割合				指標番号	1012	学校の授業がわかりやすいと答えた児童生徒の割合			
方向性	➡					方向性	➡				
単位		基準値	R03	R04	R05	単位		基準値	R03	R04	R05
%		90.6	92.2	90.5	88.7	%		79.6	89.0	87.3	85.8
指標の推移		対基準値 → 悪化		対前年度 → 悪化		指標の推移		対基準値 → 改善		対前年度 → 悪化	
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R03	R04	R05	単位		基準値	R03	R04	R05
指標の推移						指標の推移					

単位施策の評価			
「学校の授業がわかりやすいと答えた児童生徒の割合」は基準値から改善したが、「好きな授業がある児童生徒の割合」は低下しており、単位施策は横ばいで推移した。 経験年数に応じた幅広い研修を実施し、教職員の資質向上が図られ、授業改善に向けた取り組みが実施されたことにより、小学校では「分かりやすい」と実感する授業につながった一方で学習内容が難しくなる中学校においては、やや課題が見られた。 7次計画においても、教職員のニーズや課題に応じた研修を企画し、児童生徒が「好き、分かりやすい」と実感できる授業作りができるよう、専門性の高い講師の発掘に努め、教職員全体の指導力向上を図っていく。			
成果動向	○ 順調	● 横ばい	○ 順調でない

単位施策内事務事業評価表 (通常評価)

[illegible]

単位施策	02	いじめ・不登校対策を充実させる
------	----	-----------------

成果指標											
指標番号	1021	困った時に悩みを相談できる人が身近にいる児童生徒の割合				指標番号					
方向性	➡					方向性					
単位		基準値	R03	R04	R05	単位		基準値	R03	R04	R05
%		84.0	87.0	84.0	85.8						
指標の推移	対基準値 → 改善 対前年度 → 改善					指標の推移					
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R03	R04	R05	単位		基準値	R03	R04	R05
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)												
活動進捗	非常に順調		0		予定通り		4		遅延あり		0	
成果状況	向上		0		維持 横ばい		4		低下		0	
次年度に向けての課題	あり(重大)		0		あり		2		なし		2	
次年度方向性	維持		4		見直し		0		休廃止		0	
									完了		0	

単位施策内事務事業評価表 (通常評価)

[illegible]

出力日: 2024年6月4日

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2024年6月4日

単位施策	03	快適で安全な学校生活を充実させる		
体系				
章	人づくり心そだて		理念	いきいき
施策	10	子どもたちにとって楽しい学校をつくる		
単位施策主管課	学校教育課			

成果指標											
指標番号	1031	学校でけがをした児童生徒数				指標番号	1032	学校は、安心して学習できる環境が整っていると思う保護者の割合			
方向性	➡					方向性	➡				
単位		基準値	R03	R04	R05	単位		基準値	R03	R04	R05
人/年		22,522	14,063	14,265	14,328	%		65.2	63.9	63.4	62.3
指標の推移		対基準値 → 改善		対前年度 → 悪化		指標の推移		対基準値 → 悪化		対前年度 → 悪化	
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R03	R04	R05	単位		基準値	R03	R04	R05
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)								
活動進捗	非常に順調		0	予定通り		36	遅延あり	0
成果状況	向上		3	維持 横ばい		33	低下	0
次年度に向けての課題	あり(重大)		0	あり		6	なし	30
次年度方向性	維持	24	見直し	2	休廃止	0	完了	10

単位施策の評価	
成果指標2指標のうち、1指標は基準値から順調に向上しているが、1指標は基準値から低下しており、単位施策は横ばいで推移した。 「学校でけがをした児童生徒数」は基準値から減少し、サポーター等の配置による支援や、学校施設長寿命化計画を策定し、計画的な施設等改修を実施してきた効果と考える。一方、「学校は、安心して学習できる環境が整っていると思う保護者の割合」は基準値から低下し、老朽化に伴う対策の必要な施設等が依然として多くあることが要因と考える。 7次計画では、学校施設長寿命化計画に基づき、老朽化している施設等の計画的な改修・建替えや、設備の維持管理及び更新に取り組んでいく。	
成果動向	○ 順調 ● 横ばい ○ 順調でない

単位施策内事務事業評価表 (通常評価)

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	1021	教育相談事業	学校教育課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
2	1023	全国大会等出場者激励事業	学校教育課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
3	1024	特別支援教育対策事業	学校教育課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
4	1025	教育研究推進事業	学校教育課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
5	1027	要保護 準要保護児童生徒支援事業	学校教育課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
6	1028	特別支援教育就学奨励事業	学校教育課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
7	1030	新入学児童就学準備事業	学校教育課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
8	1032	東海市学校保健会補助事業	学校教育課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
9	1039	語学相談員派遣事業	学校教育課	予定通り	維持 横ばい	あり	維持
10	1045	特別支援教育支援員設置事業	学校教育課	予定通り	維持 横ばい	あり	見直し
11	1046	障害児サポート事業	学校教育課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
12	1053	読書活動サポート事業	学校教育課	予定通り	維持 横ばい	あり	維持
13	3533	学齢簿 就学援助システム標準化移行準備事業	学校教育課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
14	1058	奨学金支給事業	学校教育課	予定通り	維持 横ばい	あり	維持
15	1061	新制度未移行幼稚園運営費補助事業	幼児保育課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
16	1081	小学校木祖村木材製品購入事業	学校教育課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
17	1085	小学校外壁等改修事業	学校教育課	予定通り	維持 横ばい	あり	維持
18	1088	小学校トイレ洋式化整備事業	学校教育課	予定通り	向上	なし	完了
19	3457	大田小学校防球ネット整備事業(繰越明許費)	学校教育課	予定通り	維持 横ばい	なし	完了
20	3074	小学校職員室空調機改修事業	学校教育課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
21	3184	小学校特別教室空調機設置事業	学校教育課	予定通り	維持 横ばい	なし	完了

東海市施策評価システム 単位施策評価表

単位施策	03	快適で安全な学校生活を充実させる
------	----	------------------

[illegible][illegible]

単位施策		04 出会いと体験の場を提供する	
体系			
章	人づくり心そだて		理念 いきいき
施策	10	子どもたちにとって楽しい学校をつくる	
単位施策主管課	学校教育課		
成果指標			
指標番号	1041		指標番号 1042
方向性	夢や目標を持っている児童生徒の割合		外国の生活や文化に興味がある児童生徒の割合
単位	基準値	R03	R04 R05
%	79.0	75.8	70.2 71.6
指標の推移	対基準値 → 悪化	対前年度 → 改善	指標の推移 対基準値 → 悪化 対前年度 → 改善
指標番号			指標番号
方向性			方向性
単位	基準値	R03	R04 R05
指標の推移			指標の推移
単位施策内の事業進捗状況(事業数)			
活動進捗	非常に順調	0	予定通り 5 遅延あり 0
成果状況	向上	0	維持 横ばい 5 低下 0
次年度に向けての課題	あり(重大)	0	あり 1 なし 4
次年度方向性	維持	4	見直し 1 休廃止 0 完了 0
単位施策の評価			
成果指標2指標とも基準値から低下しており、単位施策は順調に進展しなかった。 「夢や目標を持っている児童生徒の割合」については、コロナ禍により学校行事等の活動を縮小・自粛したことで、挑戦する意欲や能力を開発する機会が減少したこと、デジタル化の進展による体験機会の減少や関心のある情報だけに触れ、幅広い情報に触れる機会が減少したことによるものと考え。 7次計画においては、子どもたちが異なる文化や歴史に触れることで視野を広げ、夢や目標を描くことができるように、姉妹都市交流や体験事業の充実に取り組んでいく。			
成果動向	○ 順調 ○ 横ばい ● 順調でない		

単位施策内事務事業評価表 (通常評価)

[illegible]

単位施策	05	食の大切さと楽しさを理解させる
------	----	-----------------

成果指標											
指標番号	1051	給食が楽しみな児童生徒の割合				指標番号	1052	給食の食べ残しの量			
方向性	➡					方向性	➡				
単位		基準値	R03	R04	R05	単位		基準値	R03	R04	R05
%		30.9	24.4	27.1	34.5	kg/年		12.861	21.998	22.305	23.172
指標の推移		対基準値 → 改善		対前年度 → 改善		指標の推移		対基準値 → 悪化		対前年度 → 悪化	
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R03	R04	R05	単位		基準値	R03	R04	R05
指標の推移						指標の推移					

単位施策の評価		
「給食が楽しみな児童生徒の割合」は基準値より向上しているものの、「給食の食べ残しの量」は、基準値より低下しており、単位施策は順調に進展しなかった。 「給食が楽しみな児童生徒の割合」は、コロナ禍による黙食から緩和され会話を楽しむことが出来るようになり改善し、「給食の食べ残しの量」は、インフルエンザ等の感染症による急な欠食等及び食事時間の減少、食べ残し指導の変化により残食の量が増加したと考える。 7次計画では、献立の工夫等、児童生徒にとって魅力のある献立を充実させ、食べることで健康な体になるなどの食育指導を継続的に行い、児童生徒の給食への興味、食べる意欲を高める取り組みを実施していく。		
成果動向	○ 順調	○ 横ばい
		● 順調でない

単位施策内事務事業評価表 (通常評価)

[illegible]

東海市施策評価システム 施策評価表

出力日: 2024年6月4日

施策	11	学校、家庭、地域が連携して子どもの健全な成長を支える
----	----	----------------------------

体系			
章	人づくり・心そだて	理念	ふれあい
めざすまちの姿	子どもの健全な成長に対して、学校、家庭、地域などが連携している		
施策主管課	学校教育課		

まちづくり指標																															
指標	0016	指標	0017																												
地域の人で学校教育に関わった人の数		子どもの教育について学校、家庭、地域の連携が十分にできていると思う人の割合																													
方向性	➡	方向性	➡																												
[人/年] <table><tr><th>年</th><th>数</th></tr><tr><td>H24</td><td>2,675</td></tr><tr><td>H26</td><td>3,233</td></tr><tr><td>H28</td><td>3,880</td></tr><tr><td>H30</td><td>3,742</td></tr><tr><td>R02</td><td>1,337</td></tr><tr><td>R04</td><td>2,336</td></tr></table> 対基準値: 339人減 / 基準値からの推移: × 10年後めざそう値達成率: -27.7% 要因: 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、地域住民の活動を縮小・中止したことで減少したが、順調に回復してきているものとする。		年	数	H24	2,675	H26	3,233	H28	3,880	H30	3,742	R02	1,337	R04	2,336	[%] <table><tr><th>年</th><th>割合</th></tr><tr><td>H24</td><td>59</td></tr><tr><td>H26</td><td>58.2</td></tr><tr><td>H28</td><td>58.6</td></tr><tr><td>H30</td><td>60.6</td></tr><tr><td>R02</td><td>59.5</td></tr><tr><td>R04</td><td>61.7</td></tr></table> 対基準値: 横ばい / 基準値からの推移: × 10年後めざそう値達成率: 0.0% 年齢別: 差異有、職業別: 差異有、学区別: 差異有 要因: 学校活動への参画が進んだものの、理解を深める機会が少なかったものとする。		年	割合	H24	59	H26	58.2	H28	58.6	H30	60.6	R02	59.5	R04	61.7
年	数																														
H24	2,675																														
H26	3,233																														
H28	3,880																														
H30	3,742																														
R02	1,337																														
R04	2,336																														
年	割合																														
H24	59																														
H26	58.2																														
H28	58.6																														
H30	60.6																														
R02	59.5																														
R04	61.7																														
指標の推移	対基準値 → 悪化 対前年度 → 改善	指標の推移	対基準値 → 横ばい 対前年度 → 悪化																												

めざすまちの姿の実現に向けた達成度及び施策の評価(主要施策報告書記載用)	
「学校教育に関わった人の数」は基準値から低下、「連携が十分にできていると思う人の割合」は基準値と横ばいであるが、単位施策は順調に進展しており、施策は横ばいで推移した。 「学校教育に関わった人の数」は、コロナ禍において関連事業を縮小・中止していたがその後は順調に回復しており、「連携が十分にできていると思う人の割合」は、学校支援協議会の活動や子ども教室等の実施により学校と家庭や地域との連携に対する理解は進んだものの、学校活動への理解を深める機会が少なかったものと考える。 7次計画では、学校運営協議会制度や、部活動の地域移行の推進等を通して、将来にわたって地域で子どもの成長を見守り、支える意識の向上に向けて取り組んでいく。	
成果動向	○ 順調 ● 横ばい ○ 順調でない

単位施策及び成果指標の動向等					
単位施策の名称		成果動向		成果指標の名称	
01	地域に開かれた学校をつくる	順調	1111	学校支援協議会の活動者数	改善 改善
			1112	学校に愛着を持っている人の割合	改善 悪化
	事務事業の成果状況	向上	(0)		
		維持・横ばい	(3)		
		低下	(0)		
02	笑顔と愛にあふれる子どもを地域の連携で育てる	順調	1121	地域全体で子どもが育っていると感じている人の割合	改善 改善
			1122	地域で行われる異年齢交流事業の参加者数	改善 改善
	事務事業の成果状況	向上	(1)		
		維持・横ばい	(4)		
		低下	(0)		
	事務事業の成果状況	向上			
		維持・横ばい			
		低下			
	事務事業の成果状況	向上			
		維持・横ばい			
		低下			
	事務事業の成果状況	向上			
		維持・横ばい			
		低下			

単位施策	01	地域に関かれた学校をつくる
------	----	---------------

成果指標											
指標番号	1111	学校支援協議会の活動者数				指標番号	1112	学校に愛着を持っている人の割合			
方向性	➡					方向性	➡				
単位		基準値	R03	R04	R05	単位		基準値	R03	R04	R05
人/年		5.208	6.677	6.889	7.866	%		65.6	68.0	66.3	65.9
指標の推移		対基準値 → 改善		対前年度 → 改善		指標の推移		対基準値 → 改善		対前年度 → 悪化	
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R03	R04	R05	単位		基準値	R03	R04	R05
指標の推移						指標の推移					

単位施策の評価	
成果指標2指標のうち1指標は基準値から改善し、1指標は横ばいであることから、単位施策は概ね順調に進展した。 「学校支援協議会の活動者数」については、コロナ禍で下がったものの順調に回復しており、地域や保護者の学校運営への参画が浸透してきたと考える。「愛着を持っている人の割合」については、学校支援協議会のボランティア活動などを通じて、地域や保護者と連携した活動を進めてきた成果があるものの、社会情勢の変化により数値が伸び悩んだものとする。 7次計画では、学校運営協議会制度を通して、地域や保護者の学校運営への支援及び協力を促進することにより、地域とともにある学校づくりに取り組んでいく。	● 順調 ○ 横ばい ○ 順調でない

単位施策内事務事業評価表 (通常評価)

[illegible]

単位施策	02	笑顔と愛にあふれる子どもを地域の連携で育てる							
体系									
章	人づくり心そだて						理念	ふれあい	
施策	11	学校、家庭、地域が連携して子どもの健全な成長を支える							
単位施策主管課	社会教育課								
成果指標									
指標番号	1121	地域全体で子どもが育っていると感じている人の割合				指標番号	1122	地域で行われる異年齢交流事業の参加者数	
方向性	➡					方向性	➡		
単位	基準値	R03	R04	R05	単位	基準値	R03	R04	R05
%	50.7	55.9	46.0	55.2	人/年	1,344	659	2,352	2,486
指標の推移	対基準値 → 改善		対前年度 → 改善		指標の推移	対基準値 → 改善		対前年度 → 改善	
指標番号					指標番号				
方向性									
単位	基準値	R03	R04	R05					単位
指標の推移					指標の推移				
単位施策内の事業進捗状況(事業数)									
活動進捗	非常に順調		0	予定通り		5	遅延あり		0
成果状況	向上		1	維持 横ばい		4	低下		0
次年度に向けての課題	あり(重大)		0	あり		4	なし		1
次年度方向性	維持	5	見直し	0	休廃止	0	完了	0	0
単位施策の評価									
成果指標2指標とも基準値から順調に向上しており、単位施策は順調に進展した。 「地域全体で子どもが育っていると感じている人の割合」は、平成30年度から開始した学習支援教室の実施や、令和4年度から子ども教室を拡充して実施したことにより向上したと考える。「地域で行われる異年齢交流事業の参加者数」は、ふれあい交流推進事業などの継続的な実施によるものと考えられる。 7次計画では、異年齢交流を推進する事業の取り組みや、こども教室等地域全体で子どもの健全な成長を支えていける事業を引き続き実施していく。									
成果動向	● 順調 ○ 横ばい ○ 順調でない								

単位施策内事務事業評価表（通常評価）

[illegible]

施策 12 青少年が健全で心豊かに成長できる環境をつくる

出力日: 2024年6月4日

体系			
章	人づくり・心そだて	理念	いきいき
めざすまちの姿	青少年が地域や社会のなかで健全に成長している		
施策主管課	社会教育課		

まちづくり指標																																																																			
指標	0018	家庭で安らいていと感じている青少年の割合		指標	0019	青少年の健全育成のための活動に関わった人の割合																																																													
方向性	➡			方向性	➡																																																														
<table><thead><tr><th>年度</th><th>割合 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H24</td><td>84.5</td></tr><tr><td>H25</td><td>83.5</td></tr><tr><td>H26</td><td>85.8</td></tr><tr><td>H27</td><td>86.1</td></tr><tr><td>H28</td><td>87</td></tr><tr><td>H29</td><td>88.1</td></tr><tr><td>H30</td><td>87</td></tr><tr><td>H31</td><td>85.8</td></tr><tr><td>H32</td><td>87.2</td></tr><tr><td>R01</td><td>90.3</td></tr><tr><td>R02</td><td>90.4</td></tr><tr><td>R03</td><td>88.9</td></tr><tr><td>R04</td><td>90</td></tr><tr><td>R05</td><td>90.5</td></tr></tbody></table>				年度	割合 (%)	H24	84.5	H25	83.5	H26	85.8	H27	86.1	H28	87	H29	88.1	H30	87	H31	85.8	H32	87.2	R01	90.3	R02	90.4	R03	88.9	R04	90	R05	90.5	<table><thead><tr><th>年度</th><th>割合 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H24</td><td>4.4</td></tr><tr><td>H25</td><td>5.1</td></tr><tr><td>H26</td><td>6</td></tr><tr><td>H27</td><td>5.9</td></tr><tr><td>H28</td><td>5.7</td></tr><tr><td>H29</td><td>5.2</td></tr><tr><td>H30</td><td>7.3</td></tr><tr><td>H31</td><td>6.1</td></tr><tr><td>H32</td><td>4.7</td></tr><tr><td>R01</td><td>5</td></tr><tr><td>R02</td><td>5.4</td></tr><tr><td>R03</td><td>5.4</td></tr><tr><td>R04</td><td>6.4</td></tr><tr><td>R05</td><td>7.8</td></tr></tbody></table>				年度	割合 (%)	H24	4.4	H25	5.1	H26	6	H27	5.9	H28	5.7	H29	5.2	H30	7.3	H31	6.1	H32	4.7	R01	5	R02	5.4	R03	5.4	R04	6.4	R05	7.8
年度	割合 (%)																																																																		
H24	84.5																																																																		
H25	83.5																																																																		
H26	85.8																																																																		
H27	86.1																																																																		
H28	87																																																																		
H29	88.1																																																																		
H30	87																																																																		
H31	85.8																																																																		
H32	87.2																																																																		
R01	90.3																																																																		
R02	90.4																																																																		
R03	88.9																																																																		
R04	90																																																																		
R05	90.5																																																																		
年度	割合 (%)																																																																		
H24	4.4																																																																		
H25	5.1																																																																		
H26	6																																																																		
H27	5.9																																																																		
H28	5.7																																																																		
H29	5.2																																																																		
H30	7.3																																																																		
H31	6.1																																																																		
H32	4.7																																																																		
R01	5																																																																		
R02	5.4																																																																		
R03	5.4																																																																		
R04	6.4																																																																		
R05	7.8																																																																		
対基準値:6.0ポイント増 / 基準値からの推移: ○ 10年後めざそう値達成率:109.1% 年齢別:差異無、職業別:差異有 要因:家庭等における青少年の見守りによる効果と想定。 家庭と関わりが深い学生が高い。				対基準値:2.0ポイント増 / 基準値からの推移: ○ 10年後めざそう値達成率:58.8% 年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有 要因:街頭パトロール活動の推進により微増していると想定。 地域との関わりが強い自営業が高い。																																																															
指標の推移		対基準値 → 改善 対前年度 → 改善		指標の推移		対基準値 → 改善 対前年度 → 改善																																																													

めざまちの姿の実現に向けた達成度及び施策の評価(主要施策報告書記載用)		
「家庭で安らいでいると感じている青少年の割合」はめざそう値を達成し、「青少年の健全育成のための活動に関わった人の割合」は達成率が58.8%であったことから、施策は順調に進展した。 非行防止啓発や、地域や学校等が一体となり青少年の見守りを継続的に行ってきたこと等により、「青少年の健全育成のための活動に関わった人の割合」が向上したことにより、「家庭で安らいでいると感じている青少年の割合」も連動して向上したと考える。 7次計画においても、地域等と協力し、青少年の健全育成の支援に取り組んでいく。		
成果動向	● 順調	○ 横ばい
		○ 順調でない

単位施策及び成果指標の動向等							
単位施策の名称		成果動向		成果指標の名称		対 基準値	対 前年度
01	青少年が活躍する場をつくる	順調	1211	スポーツ、文化、ボランティアなどの各種団体に所属している青少年の割合	改善	改善	
			1212	夢や希望を持って活動・行動している青少年の割合	改善	改善	
	事務事業の成果状況	向上	(0)				
		維持・横ばい	(3)				
		低下	(0)				
02	青少年の非行を防止する	順調	1221	青少年の犯罪件数	改善	改善	
			1222	困った時に悩みを相談できる人が身近にいる青少年の割合	改善	改善	
	事務事業の成果状況	向上	(0)				
		維持・横ばい	(2)				
		低下	(0)				
	事務事業の成果状況	向上					
維持・横ばい							
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
維持・横ばい							
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
維持・横ばい							
		低下					

単位施策	01	青少年が活躍する場をつくる
------	----	---------------

成果指標											
指標番号	1211	スポーツ、文化、ボランティアなどの各種団体に所属している青少年の割合				指標番号	1212	夢や希望を持って活動 行動している青少年の割合			
方向性	➡					方向性	➡				
単位		基準値	R03	R04	R05	単位		基準値	R03	R04	R05
%		23.6	24.8	25.6	27.4	%		66.2	73.5	73.0	76.2
指標の推移		対基準値 → 改善		対前年度 → 改善		指標の推移		対基準値 → 改善		対前年度 → 改善	
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R03	R04	R05	単位		基準値	R03	R04	R05
指標の推移						指標の推移					

単位施策の評価			
成果指標2指標とも基準値から順調に向上しており、単位施策は順調に進展した。「スポーツなどの各種団体に所属している青少年の割合」は、市内で展開しているスポーツ等各種団体の活動が魅力的であること、周知等の効果が出ているものと考ええる。「夢や希望を持って活動・行動している青少年の割合」は、実施方法の見直しはあるものの、20歳の集いなど、青少年が夢や希望が持てるように支援する事業を継続的に実施してきた成果であると考ええる。 7次計画でも、社会環境の変化に適切に対応し、20歳の集い開催事業や青少年育成に関する事業等の取り組みを引き続き実施していく。			
成果動向	● 順調	○ 横ばい	○ 順調でない

単位施策内事務事業評価表 (通常評価)

[illegible]

単位施策	02	青少年の非行を防止する
------	----	-------------

成果指標											
指標番号	1221	青少年の犯罪件数				指標番号	1222	困った時に悩みを相談できる人が身近にいる 青少年の割合			
方向性	➡					方向性	➡				
単位		基準値	R03	R04	R05	単位		基準値	R03	R04	R05
件/年		54	11	19	13	%		81.3	87.5	84.0	86.3
指標の推移		対基準値 → 改善		対前年度 → 改善		指標の推移		対基準値 → 改善		対前年度 → 改善	
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R03	R04	R05	単位		基準値	R03	R04	R05
指標の推移						指標の推移					

単位施策の評価			
成果指標は基準値から順調に推移しており、単位施策は順調に進展した。 「青少年の犯罪件数」は基準値より41件（76%）減少しており、青少年育成センターにおける非行防止啓発や、関係機関への周知や連携、パトロールの強化等の成果と考える。また、「悩みを相談できる人が身近にいる青少年の割合」は基準値より5ポイント向上しており、地域や学校等が一体となり青少年を見守るとともに、居場所づくりや大人との交流の場となる環境を整えてきたことが指標の改善につながったと考える。 青少年の非行を未然に防ぎ、また、青少年が地域社会で健やかに育つため、7次計画では関係機関との連携を強固にし、青少年の健全育成に取り組んでいく。			
成果動向	● 順調	○ 横ばい	○ 順調でない

単位施策内事務事業評価表 (通常評価)

[illegible]

施策 13 マナーが守られ思いやりにあふれる地域をつくる

体系			
章	人づくり・心そだて	理念	ふれあい
めざすまちの姿	正しいマナーを子どもが身につけており、その習慣が次世代にも継承されている		
施策主管課	社会教育課		

指標	0020	この1年で人に親切にしたことのある人の割合	指標																		
方向性	➡		方向性																		
[%] <table border="1"> <caption>指標の推移 (割合 [%])</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>割合 [%]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>78.3</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>74.3</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>73.6</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>76.0</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>76.6</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>75.3</td> </tr> <tr> <td>最終年度</td> <td>85.9</td> </tr> </tbody> </table> [年]			年	割合 [%]	H24	78.3	H26	74.3	H28	73.6	H30	76.0	R02	76.6	R04	75.3	最終年度	85.9			
年	割合 [%]																				
H24	78.3																				
H26	74.3																				
H28	73.6																				
H30	76.0																				
R02	76.6																				
R04	75.3																				
最終年度	85.9																				
対基準値: 1.4ポイント減 / 基準値からの推移: × 10年後めざそう値達成率: -20.9% 年齢別: 差異有、職業別: 差異有、地区別: 差異有 要因: 地域における人間関係の希薄化が要因と想定 。社会との関わりが多い世代、職業が高い。																					
指標の推移	対基準値 → 悪化 対前年度 → 改善		指標の推移																		

まちづくり指標は、基準値から低下しており、施策は順調に進展しなかった。 年齢別にみると、10代が最も高く、年齢が上がるにつれて低下する傾向であることから、学校や家庭等で親切にすることを教えられたことが、年数を重ねることで希薄化していることが要因の一つと考える。 7次計画では、地域社会との関わりの中で、正しいマナーや習慣を多世代で学べるよう、啓発等に取り組んでいく。			
成果動向	○ 順調	○ 横ばい	● 順調でない

単位施策の名称		成果動向		成果指標の名称		対 基準値	対 前年度
01	子どもが社会性を身に つけ思いやる心を育てる	順調でない	1311	ボランティア活動に参加したことの児童生徒の割合	悪化	改善	
			1312	ルールを守っていない子どもに注意をしたことのある人の割合	悪化	悪化	
	事務事業の成果状況	向上	(0)				
		維持・横ばい	(0)				
		低下	(0)				
02	思いやりに感謝し親切に できる地域をつくる	横ばい	1321	この1か月で地域の人とあいさつや会話をしたことのある人の割合	悪化	横ばい	
	事務事業の成果状況	向上	(0)				
		維持・横ばい	(2)				
		低下	(0)				
	事務事業の成果状況	向上					
		維持・横ばい					
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
		維持・横ばい					
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
		維持・横ばい					
		低下					

単位施策	01	子どもが社会性を身につけ思いやる心を育てる
------	----	-----------------------

成果指標											
指標番号	1311	ボランティア活動に参加したことの児童生徒の割合				指標番号	1312	ルールを守っていない子どもに注意をしたことのある人の割合			
方向性	➡					方向性	➡				
単位		基準値	R03	R04	R05	単位		基準値	R03	R04	R05
%		55.6	28.3	34.5	38.7	%		53.9	41.6	43.0	39.8
指標の推移		対基準値 → 悪化 対前年度 → 改善				指標の推移		対基準値 → 悪化 対前年度 → 悪化			
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R03	R04	R05	単位		基準値	R03	R04	R05
指標の推移						指標の推移					

単位施策の評価			
成果指標2指標とも基準値から悪化しており、単位施策は順調に進展しなかった。 「ボランティア活動に参加したことのある児童生徒の割合」は、学校等における活動機会が減少してきたことが背景として低下したものとする。「ルールを守っていない子どもに注意をしたことのある人の割合」は、世帯の就労環境の変化など、地域の子どもの関わる時間が短くなったことなどにより低下したものとする。 7次計画では、家庭、地域及び学校の連携強化を図り、ボランティア活動への参加機会を提供するとともに、地域全体で子どもの社会性や思いやる気持ちを育てる意識の向上を図っていく必要がある。			
成果動向	○ 順調	○ 横ばい	● 順調でない

単位施策内事務事業評価表 (通常評価)

[illegible]

単位施策	02	思いやりに感謝し親切にできる地域をつくる
------	----	----------------------

成果指標											
指標番号	1321	この 1 か月で地域の人とあいさつや会話をした ことのある人の割合				指標番号					
方向性	➡					方向性					
単位		基準値	R03	R04	R05	単位		基準値	R03	R04	R05
%		90.6	88.7	87.7	87.7						
指標の推移		対基準値 → 悪化 対前年度 → 横ばい				指標の推移					
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R03	R04	R05	単位		基準値	R03	R04	R05
指標の推移						指標の推移					

単位施策の評価	
成果指標1指標は、基準値からの変化が少なく、単位施策は横ばいで推移した。 「この1か月で地域の人とあいさつや会話をしたことのある人の割合」は、6次総合計画期間においてどの世代もほぼ横ばいで推移しているが、若年層においては基準値より低下している。これは、家庭教育のひとつでもある「あいさつ」が浸透していないことが要因の一つと考える。 7次計画では、子どものうちからあいさつや会話などをする習慣や、社会性や人を思いやる心の大切さを、家庭教育推進事業などをとおして啓発するとともに、定着を図っていく。	
成果動向	○ 順調 ● 横ばい ○ 順調でない

単位施策内事務事業評価表 (通常評価)

[illegible]

施策 14 楽しみや生きがいを感じるまちをつくる

体系			
章	人づくり・心そだて	理念	いきいき
めざすまちの姿	楽しみや生きがいを感じて学習や余暇活動に取り組んでいる		
施策主管課	社会教育課		

指標	0021	指標																																	
方向性	➡	方向性																																	
生涯学習を行っている人の割合 <table border="1"> <caption>生涯学習を行っている人の割合 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>Blue Line (%)</th> <th>Pink Line (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>32.8</td> <td>32.8</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>31.5</td> <td>32.2</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>31.6</td> <td>31.6</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>32.5</td> <td>32.5</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>30.9</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>31.7</td> <td>31.7</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>28.7</td> <td>30.8</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>30.4</td> <td>28.8</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>30.8</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>34.2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		年	Blue Line (%)	Pink Line (%)	H24	32.8	32.8	H25	31.5	32.2	H26	31.6	31.6	H27	32.5	32.5	H28	30.9	35	H29	31.7	31.7	H30	28.7	30.8	R01	30.4	28.8	R02	30.8	40	R03	34.2		
年	Blue Line (%)	Pink Line (%)																																	
H24	32.8	32.8																																	
H25	31.5	32.2																																	
H26	31.6	31.6																																	
H27	32.5	32.5																																	
H28	30.9	35																																	
H29	31.7	31.7																																	
H30	28.7	30.8																																	
R01	30.4	28.8																																	
R02	30.8	40																																	
R03	34.2																																		
対基準値: 1.4ポイント増 / 基準値からの推移: ○ 10年後めざそう値達成率: 19.4% 年齢別: 差異有、職業別: 差異有、地区別: 差異有 要因: 学習時間の制約が要因と想定。学生など比較 的時間に余裕のある世代や職業は高い。																																			
指標の推移	対基準値 → 改善 対前年度 → 改善	指標の推移																																	

まちづくり指標の達成率は19.4%だったことから、施策は横ばいで推移した。 地区公民館・市民館での講座や地域サロンカフェの開催、中央図書館での読み聞かせボランティア講座やお話友の会の開催など、6次計画期間をとおして各種事業を展開してきたが、市民の生涯学習活動に関する意欲の向上に十分につながらなかったと考える。 7次計画では、市民の学習ニーズを的確にとらえ、新たな学びの機会と場の提供、利用しやすい図書館サービスや読書環境の充実を目指していく。			
成果動向	○ 順調	● 横ばい	○ 順調でない

単位施策の名称		成果動向		成果指標の名称		対 基準値	対 前年度
01	学び教え合う学習活動を 充実させる	横ばい	1411	生涯学習活動で公民館、市民館などの利用者数	悪化	悪化	
			1412	自分の趣味や特技を日常生活のなかで生かしたことがある人の割合	悪化	悪化	
	事務事業の成果状況	向上	(0)				
		維持・横ばい	(12)				
		低下	(0)				
02	読書に親しみ楽しむ機会を増やす	順調でない	1421	中央・横須賀図書館の貸出冊数	改善	改善	
			1422	1か月間の児童生徒の読書量	悪化	改善	
	事務事業の成果状況	向上	(2)				
		維持・横ばい	(4)				
		低下	(2)				
	事務事業の成果状況	向上					
維持・横ばい							
低下							
	事務事業の成果状況	向上					
維持・横ばい							
低下							
	事務事業の成果状況	向上					
維持・横ばい							
低下							

出力日: 2024年6月4日

単位施策の評価			
「生涯学習活動で公民館、市民館などの利用者数」は基準値から低下、「自分の趣味や特技を日常生活のなかで生かしたことのある人の割合」は横ばい傾向であることから、単位施策は横ばいで推移した。 「生涯学習活動で公民館、市民館などの利用者数」は、文化センターの廃止により、低下したと考える。「自分の趣味や特技を日常生活のなかで生かしたことのある人の割合」は、自主サークルなどが利用者の高齢化等による活動規模の縮小が低下の一因であると考え。 7次計画では、地域住民の学習ニーズの把握を適切に行い、必要な学習機会の場の提供と、自主的な学習活動を支えるための環境整備等に取り組んでいく。			
成果動向	○ 順調	● 横ばい	○ 順調でない

[illegible]

単位施策	02	読書に親しみ楽しむ機会を増やす		
体系				
章	人づくり心そだて		理念	いきいき
施策	14	楽しみや生きがいを感 じるまちをつくる		
単位施策主管課	中央図書館			

単位施策内の事業進捗状況(事業数)						
活動進捗	非常に順調	0	予定通り	8	遅延あり	0
成果状況	向上	2	維持 横ばい	4	低下	2
次年度に向けての課題	あり(重大)	0	あり	2	なし	6
次年度方向性	維持	8	見直し	0	休廃止	0
					完了	0

成果動向	○ 順調	○ 横ばい	● 順調でない
------	------	-------	---------

[illegible]

東海市施策評価システム 施策評価表

出力日: 2024年6月4日

施策	15	だれもが気軽にスポーツを楽しむ元気なまちをつくる
----	----	--------------------------

体系			
章	人づくり・心そだて	理念	いきいき
めざすまちの姿	気軽にスポーツを楽しんでいる		
施策主管課	スポーツ課		

まちづくり指標																															
指標	0022	指標	0023																												
市民一人当たりのスポーツ施設の利用回数		スポーツを実践している人の割合																													
方向性	➡	方向性	➡																												
[回/人・年] <table><tr><th>年</th><th>回/人・年</th></tr><tr><td>H24</td><td>6.4</td></tr><tr><td>H26</td><td>6.3</td></tr><tr><td>H28</td><td>6.6</td></tr><tr><td>H30</td><td>6.8</td></tr><tr><td>R02</td><td>6.6</td></tr><tr><td>R04</td><td>8.0</td></tr></table>		年	回/人・年	H24	6.4	H26	6.3	H28	6.6	H30	6.8	R02	6.6	R04	8.0	[%] <table><tr><th>年</th><th>割合 [%]</th></tr><tr><td>H24</td><td>51.1</td></tr><tr><td>H26</td><td>48.7</td></tr><tr><td>H28</td><td>49.3</td></tr><tr><td>H30</td><td>49.4</td></tr><tr><td>R02</td><td>48.8</td></tr><tr><td>R04</td><td>52.2</td></tr></table>		年	割合 [%]	H24	51.1	H26	48.7	H28	49.3	H30	49.4	R02	48.8	R04	52.2
年	回/人・年																														
H24	6.4																														
H26	6.3																														
H28	6.6																														
H30	6.8																														
R02	6.6																														
R04	8.0																														
年	割合 [%]																														
H24	51.1																														
H26	48.7																														
H28	49.3																														
H30	49.4																														
R02	48.8																														
R04	52.2																														
対基準値:0.2回減 / 基準値からの推移: × 10年後めざそう値達成率:-12.5% 要因:市民体育館アリーナの床面の張替及び照明機器のLED化の工事のため長期間利用ができなかったことによるもの。		対基準値:1.1ポイント増 / 基準値からの推移: 10年後めざそう値達成率:15.9% 年齢別:差異有、職業別:差異無、地区別:差異無 要因:新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行によるスポーツイベントや教室の再開によると想定。																													
指標の推移	対基準値 → 悪化 対前年度 → 悪化	指標の推移	対基準値 → 改善 対前年度 → 改善																												

めざすまちの姿の実現に向けた達成度及び施策の評価(主要施策報告書記載用)			
「施設の利用回数」は基準値から低下、「実践している人の割合」はめざそう値達成率が15.9%であるものの、単位施策は順調に進展していることから、施策は横ばいで推移した。 市民体育館及び運動公園の整備に取り組んできたものの、多様化する市民ニーズへの十分な対応には至っておらず、「施設の利用回数」は基準値から改善しなかった。また、「実践している人の割合」も、各種事業を実施しているものの、仕事や家事で忙しいことなどから、スポーツに取り組む意識の醸成に繋がっていないものと考ええる。 7次計画では、スポーツに関わる人を増やし、健康で活力のあるまちづくりに貢献できるよう、各種スポーツ事業の充実と、安全に快適に利用できるスポーツ環境を整備していく。			
成果動向	○ 順調 ● 横ばい ○ 順調でない		

単位施策及び成果指標の動向等					
単位施策の名称		成果動向		成果指標の名称	
01	スポーツに親しむ機会を提供する	順調	1511	この1か月でスポーツ活動をした人の割合	改善 改善
			1512	スポーツをしやすい環境が整っていると思う人の割合	改善 悪化
	事務事業の成果状況	向上	(6)		
		維持 横ばい	(3)		
02	スポーツで活躍する人を支援する	順調	1521	全国大会出場件数	改善 改善
	事務事業の成果状況	向上	(2)		
		維持 横ばい	(1)		
	事務事業の成果状況	向上			
		維持 横ばい			
	事務事業の成果状況	向上			
		維持 横ばい			
	事務事業の成果状況	向上			
		維持 横ばい			

単位施策	01	スポーツに親しむ機会を提供する
------	----	-----------------

成果指標											
指標番号	1511				指標番号	1512					
方向性	この1か月でスポーツ活動をした人の割合				方向性	スポーツをしやすい環境が整っていると思う人の割合					
単位	基準値	R03	R04	R05	単位	基準値	R03	R04	R05		
%	47.0	50.3	48.0	49.3	%	60.8	65.4	67.5	63.7		
指標の推移	対基準値 → 改善 対前年度 → 改善				指標の推移	対基準値 → 改善 対前年度 → 悪化					
指標番号					指標番号						
方向性					方向性						
単位	基準値	R03	R04	R05	単位	基準値	R03	R04	R05		
指標の推移					指標の推移						

単位施策の評価			
成果指標は、2指標とも変化は少ないものの基準値から向上しており、単位施策は概ね順調に進展した。 「この1か月でスポーツ活動をした人の割合」については、東海ハーフマラソンの開催や、スポーツクラブ東海と連携して市民ニーズに応じた教室や事業等を展開したことが影響していると考える。「環境が整っていると思う人の割合」について、各スポーツ施設の整備のみならず、身近な公園での事業展開や学校のスポーツ開放等の実施が影響していると考える。 7次計画では、本市の現状や課題を踏まえ、市民一人ひとりがスポーツに興味・関心が持てるように働きかけ、多面的に参加しやすい環境をつくっていく。			
成果動向	● 順調	○ 横ばい	○ 順調でない

単位施策内事務事業評価表 (通常評価)

[illegible]

単位施策	02	スポーツで活躍する人を支援する
------	----	-----------------

成果指標											
指標番号	1521	全国大会出場件数				指標番号					
方向性	➡					方向性					
単位		基準値	R03	R04	R05	単位		基準値	R03	R04	R05
件/年		129	162	212	264						
指標の推移	対基準値 → 改善 対前年度 → 改善					指標の推移					
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R03	R04	R05	単位		基準値	R03	R04	R05
指標の推移						指標の推移					

単位施策の評価			
成果指標は基準値から向上しており、単位施策は順調に進展した。 成果指標の改善は、全国大会出場者に対して行う激励制度の定着やオリンピック出場選手の応援事業の実施が影響していると考える。 7次計画では、引き続きふるさと大使である地元企業スポーツチームなどと連携した試合観戦やスポーツ教室を開催するとともに、全国大会や世界大会等に出場する個人や団体に対し、激励会を開催するなど、アスリート活動を支援していく。			
成果動向	● 順調	○ 横ばい	○ 順調でない

単位施策内事務事業評価表 (通常評価)

[illegible]

施策 16 文化に親しみ心豊かなまちをつくる

体系			
章	人づくり・心そだて	理念	いきいき
めざすまちの姿	文化に親しみ心豊かな生活を送っている		
施策主管課	文化芸術課		

指標	0024	文化・芸術活動を行っている人の割合	指標																															
方向性	➡		方向性																															
[年] <table border="1"> <caption>文化・芸術活動を行っている人の割合 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>19.6</td></tr> <tr><td>H25</td><td>18.7</td></tr> <tr><td>H26</td><td>19.3</td></tr> <tr><td>H27</td><td>19.2</td></tr> <tr><td>H28</td><td>19.4</td></tr> <tr><td>H29</td><td>22.3</td></tr> <tr><td>H30</td><td>22.0</td></tr> <tr><td>H31</td><td>17.0</td></tr> <tr><td>R02</td><td>20.3</td></tr> <tr><td>R03</td><td>19.6</td></tr> <tr><td>R04</td><td>19.4</td></tr> <tr><td>R05</td><td>17.5</td></tr> <tr><td>R06</td><td>20.8</td></tr> <tr><td>R07</td><td>25.0</td></tr> </tbody> </table> [年]			年	割合 (%)	H24	19.6	H25	18.7	H26	19.3	H27	19.2	H28	19.4	H29	22.3	H30	22.0	H31	17.0	R02	20.3	R03	19.6	R04	19.4	R05	17.5	R06	20.8	R07	25.0		
年	割合 (%)																																	
H24	19.6																																	
H25	18.7																																	
H26	19.3																																	
H27	19.2																																	
H28	19.4																																	
H29	22.3																																	
H30	22.0																																	
H31	17.0																																	
R02	20.3																																	
R03	19.6																																	
R04	19.4																																	
R05	17.5																																	
R06	20.8																																	
R07	25.0																																	
対基準値:1.2ポイント増 / 基準値からの推移: ○ 10年後のめざそう値達成率:22.2% 年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有 要因:学生や主婦等、比較的時間的に余裕があり、 文化芸術活動に触れる機会の多い人が高い。																																		
指標の推移	対基準値 → 改善	対前年度 → 改善	指標の推移																															

成果動向	● 順調	○ 横ばい	○ 順調でない
------	------	-------	---------

単位施策の名称		成果動向		成果指標の名称		対 基準値	対 前年度
01	市民の文化芸術活動を支援する	横ばい	1611	個展・展覧会の催し物の開催数	悪化	改善	
	事務事業の成果状況	向上	(0)				
		維持・横ばい	(3)				
		低下	(0)				
02	感動が生まれる文化芸術を提供する	順調	1621	市の文化施設で行われる文化・芸術事業への参加者数	改善	改善	
			1622	文化活動が盛んなまちだと思ふ人の割合	改善	悪化	
	事務事業の成果状況	向上	(3)				
		維持・横ばい	(6)				
		低下	(0)				
	事務事業の成果状況	向上					
		維持・横ばい					
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
		維持・横ばい					
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
		維持・横ばい					
		低下					

単位施策		01 市民の文化芸術活動を支援する	
体系			
章		人づくり・心そだて	
施策		16 文化に親しみ心豊かなまちをつくる	
単位施策主管課		文化芸術課	
成果指標			
指標番号	1611		指標番号
方向性	個展・展覧会の催し物の開催数		方向性
単位	基準値	R03	R04
回/年	79	79	74
指標の推移	対基準値 → 悪化 対前年度 → 改善		指標の推移
指標番号			指標番号
方向性			方向性
単位	基準値	R03	R04
指標の推移			指標の推移
単位施策内の事業進捗状況(事業数)			
活動進捗	非常に順調		1 予定通り
成果状況	向上		0 維持 横ばい
次年度に向けての課題	あり(重大)		0 あり
次年度方向性	維持		1 見直し
	2 休廃止		0 完了
単位施策の評価			
成果指標は、基準値に近い数値で推移したものの届かず、単位施策は横ばいで推移した。 「個展・展覧会の催し物の開催数」については、令和元年以降、市内施設の臨時休館や施設利用の制限の影響を受けて開催を中止したり規模を縮小したりする団体等が増加し、その結果活動を再開しない団体も多く、横ばいの推移につながったと考える。また、学業をはじめとした様々な活動がコロナ禍以前に戻ったことにより、文化芸術活動に割く時間が減少したことも要因の一つであると考えます。 7次計画では、引き続き、市内各所で多くの人々が気軽に文化芸術活動に参加し、さらに気軽に作品の制作体験や鑑賞ができるよう、文化芸術活動の支援を続けていく。			
成果動向	○ 順調		● 横ばい
			○ 順調でない

単位施策内事務事業評価表 (通常評価)

[illegible]

単位施策	02	感動が生まれる文化芸術を提供する
------	----	------------------

成果指標													
指標番号		1621				指標番号		1622					
方向性		市文化施設で行われる文化・芸術事業への参加者数				方向性		文化活動が盛んなまちだと思ふ人の割合					
単位		基準値		R03	R04	R05	単位		基準値		R03	R04	R05
人/年		23,597	74,007	101,289	111,046	%	53.6		60.2	60.4	59.1		
指標の推移		対基準値 → 改善		対前年度 → 改善		指標の推移		対基準値 → 改善		対前年度 → 悪化			
指標番号						指標番号							
方向性						方向性							
単位		基準値		R03	R04	R05	単位		基準値		R03	R04	R05
指標の推移						指標の推移							

単位施策の評価			
成果指標2指標とも基準値から向上しており、単位施策は順調に進展した。 「文化・芸術事業への参加者数」は、芸術劇場の開館以降、芸術劇場を中心に市内各所で、鑑賞機会の提供やアウトリーチ等の様々な事業を展開してきたことが影響していると考える。 「文化活動が盛んなまちだ」と思う人の割合」は、10代及び20代で継続的に高水準で推移しており、学業等において文化芸術活動に触れる機会の多い世代を中心に活発化していると考える。 7次計画では、市民が文化芸術に高い関心を持ち、気軽に触れ合い関わることができる機会を継続して提供していけるよう、芸術劇場をはじめ市内各所で上質な文化芸術事業の提供に取り組んでいく。			
成果動向	● 順調	○ 横ばい	○ 順調でない

単位施策内事務事業評価表 (通常評価)

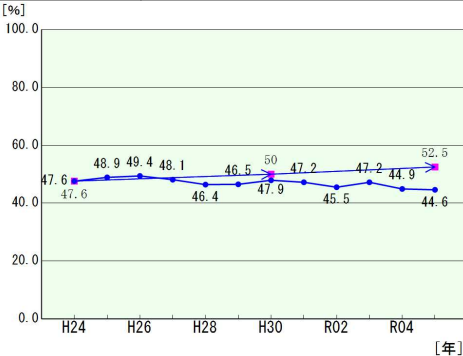
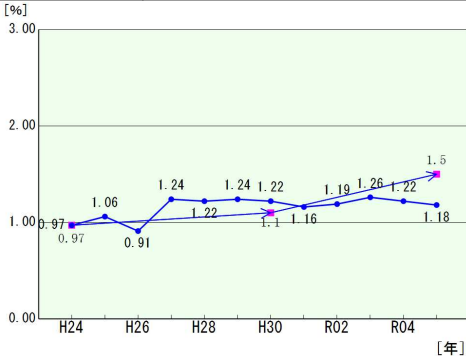
[illegible]

東海市施策評価システム 施策評価表

出力日: 2024年6月4日

施策	17	郷土の歴史や文化を大切に継承する
----	----	------------------

体系			
章	人づくり・心そだて	理念	活力
めざすまちの姿	地域の歴史や伝統文化が大切に守られ継承されている		
施策主管課	社会教育課		

まちづくり指標					
指標	0025		指標	0026	
方向性	➡	郷土の歴史などに愛着を持っている人の割合	方向性	➡	15歳～30歳の若者のなかで、伝統文化を継承している団体に所属している人の割合
					
対基準値:3.0ポイント減 / 基準値からの推移: 10年後めざそう値達成率:-61.2% 年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有 要因:若年層の郷土の歴史への興味低下が要因と考 える。比較的時間に余裕のある世代、職業が高い。			対基準値:0.2ポイント増 / 基準値からの推移: 10年後めざそう値達成率:39.6% 要因:地域の伝統文化団体が継承を意識した活動を実 施してきた効果と考える。		
指標の推移	対基準値 → 悪化	対前年度 → 悪化	指標の推移	対基準値 → 改善	対前年度 → 悪化

めざすまちの姿の実現に向けた達成度及び施策の評価(主要施策報告書記載用)			
「愛着を持っている人の割合」は基準値から低下、「団体に所属している人の割合」はめざ そう値達成率が39.6%であることから、施策は順調に進展しなかった。 6次計画期間において、地域のまつり等の伝統文化を継承する団体の積極的な活動等により、 団体に所属する若者が増加してきたものの、伝統文化や郷土の歴史への啓発が十分に行えてい なかったことから、多くの市民が愛着を持つにはつながらず、基準値から低下したものと考 える。 7次計画では、伝統文化や郷土の歴史を積極的に活用する事業を様々な世代に向けて実施して いくことで、より多くの市民が伝統文化や郷土の歴史に愛着を持てるよう取り組んでいく。			
成果動向	○ 順調	○ 横ばい	● 順調でない

単位施策及び成果指標の動向等							
単位施策の名称		成果動向		成果指標の名称		対 基準値	対 前年度
01	伝統文化を大切にする	横ばい		1711	伝統文化を継承している団体の会員数	改善	悪化
	事務事業の成果状況	向上	(0)				
維持・横ばい		(6)					
低下		(0)					
02	郷土の歴史と文化に親しむ	順調でない		1721	市の歴史や伝統文化について知っている人の割合	悪化	改善
	事務事業の成果状況	向上	(1)				
維持・横ばい		(9)					
低下		(0)					
	事務事業の成果状況	向上					
維持・横ばい							
低下							
	事務事業の成果状況	向上					
維持・横ばい							
低下							
	事務事業の成果状況	向上					
維持・横ばい							
低下							

単位施策		01 伝統文化を大切にする	
体系			
章	人づくり・心そだて		理念 活力
施策	17 郷土の歴史や文化を大切に継承する		
単位施策主管課	社会教育課		
成果指標			
指標番号	1711		指標番号
方向性	→ 伝統文化を継承している団体の会員数		方向性
単位	基準値	R03	R04
人	666	828	845
指標の推移	対基準値 → 改善 対前年度 → 悪化		指標の推移
指標番号			指標番号
方向性			方向性
単位	基準値	R03	R04
指標の推移			指標の推移
単位施策内の事業進捗状況(事業数)			
活動進捗	非常に順調	0	予定通り
成果状況	向上	0	維持 横ばい
次年度に向けての課題	あり(重大)	0	あり
次年度方向性	維持	6	見直し
		0	休廃止
		0	完了
単位施策の評価			
成果指標は基準値から改善しているが近年横ばい傾向が続いており、単位施策は横ばいで推移した。 成果指標は、基準値から179人向上しており、その理由としては、各種団体が補助金等を活用し、伝統文化を継承するための活動へ積極的に取り組んでいることが要因と考える。 7次計画では、文化財等の維持管理に対する補助事業を活用した適切な保存や文化財等に触れ合う機会の提供により、文化財・伝統文化を継承していく環境づくりに取り組んでいく。			
成果動向	○ 順調 ● 横ばい ○ 順調でない		

単位施策内事務事業評価表 (通常評価)

[illegible]

単位施策	02	郷土の歴史と文化に親しむ
------	----	--------------

成果指標											
指標番号	1721	市の歴史や伝統文化について知っている人の割合				指標番号					
方向性	➡					方向性					
単位		基準値	R03	R04	R05	単位		基準値	R03	R04	R05
%		76.1	69.3	65.1	65.6						
指標の推移	対基準値 → 悪化 対前年度 → 改善					指標の推移					
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R03	R04	R05	単位		基準値	R03	R04	R05
指標の推移						指標の推移					

単位施策の評価		
成果指標は基準値から低下しており、単位施策は順調に進展しなかった。 成果指標は基準値から13.8ポイント低下しており、年齢別では若年世代の割合が低い。その理由としては、平洲記念館等において各種啓発事業を実施しているが、高齢世代の講座等の受講者が多く、若年層世代の受講者が得られていないことが要因と考える。 7次計画では、歴史や伝統文化への関心が薄い若年層世代に対するPR方法等の工夫を検討していく。		
成果動向	○ 順調	● 順調でない

単位施策内事務事業評価表 (通常評価)

[illegible]